



福島のために 財務事務所ができること

星野 弘幸 (ほしの ひろゆき)

東北財務局 福島財務事務所 所長
福島市



財務事務所って？

福島財務事務所は、ブロック機関である東北財務局の下にある県単位の組織で、財務省の総合出先機関として、また金融庁からの事務委任を受けて、皆さんの身近なところで財政・金融分野の幅広い業務を行っています。

と書いてはみたものの、皆さんにはどれだけ財務事務所のことを「身近」に感じていただいているのでしょうか。同じく財務省の出先機関である税務署と誤解・混同されることも少なからずあり、一般の方にとってはあまりなじみのない役所なのかもしれません。

先日職場訪問で当事務所に来た学生と話した時のこと。税務署（国税局）が第一志望だという学生がいたのでその理由を尋ねてみると、答えは「なんとなく」。その職業についてある程度の知識・イメージがなければ、将来なりたいとも思わないでしょうから、ただ単に国家公務員の中で一番仕事がイメージしやすかっただけなのかもしれません。実際、財務局・財務事務所の業務内容の説明を受けた後は、「こっちもいいなあ」と思ったとのことでした。

地域とともに

では、学生がいいなあと思ってくれた財務局・財務事務所の業務内容とはというと、主なものだけでも、公共施設整備等のための地方公共団体への資金の貸付け、地域経済情勢の調査、災害によって被害を受けた公共施設等の復旧事業費の決定、国有地の貸付けや売払い、さらには地域金融機関の監督・検査など、なかなかバラエティに富んでいます。

また、国の財政・金融政策に関し、例えば消費増税の意義や金融犯罪被害防止などについて、地域の皆さんにわかりやすくお伝えすることや、逆に皆さんからいただいた貴重なご意見・ご要望を本省庁に伝えることも大切な役割です。

このように私ども財務事務所は、ここ福島で地域に密着しながら地道に業務を行っています。

「FUKUSHIMA」の認知度

そしてその福島は、東日本大震災、というより原発事故によって、風評も含め甚大な被害を受けてしまいました。

その一方で、ある機関の調査によれば、外国人の観光地としての認知度、外国人が訪問したい観

光地、いずれも福島が東北地方でトップだったそうです。原発の名前を県名にしたことによって、風評の範囲も広がってしまったというような意見もありますが、松島のある宮城や平泉のある岩手等々を差し置いて1位となったのは、やはり原発事故が世界に発信されたことも大きいと思います。

「FUKUSHIMA」は恐らく「HIROSHIMA」や「NAGASAKI」と同じように世界の人々の胸に刻まれています。そしてもちろん「HIROSHIMA」と「NAGASAKI」にはかつてあったであろうマイナスイメージはもはや全くありません。近い将来「FUKUSHIMA」もと願わざるを得ません。

「ふくしま」の未来

本格的な少子高齢社会を迎える中で、活力ある地域社会を創出・維持するためには、人口減少対策や交流人口の増加が重要な課題となっています。

きっかけは何であれ、外国の方が福島に興味・関心を寄せてくれている、行ってみたいと思ってくれている。今はまだ認知度、訪問意欲はありながら、都道府県別の外国人宿泊者数は全国で40番台に止まっています。しかし、ここは伸び代があると前向きに捉えたいと思います。実際に、近年は全国平均を大きく上回る伸率で増加しています。

国内外に正確な情報を発信し続けて、より多くの方に「ふくしま」に「来て」もらう。そして「吞んで」「味わって」もらえば、きっと満足していただけるはずです。中には将来「住んで」みたいと思う人もいるかもしれません。福島にはそれだけの魅力があると信じています。ありのままの福島を見て、感じてもらうことこそが風評払拭にもつながるのではないかと思います。

さらに「福島」のために

先ほどご紹介した財務事務所の業務に加えて、近年重要な使命として取り組んでいるのが「地域連携・地域貢献」です。財務局・財務事務所には様々な業務を通じて構築した金融機関や他の行政機関等とのネットワークがありますので、これを生かして、より積極的・能動的に地域が抱える課



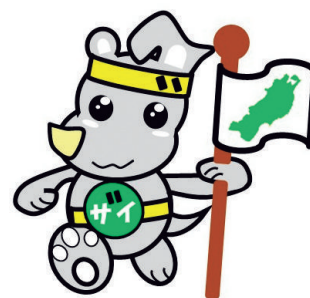
地域経済活性化フォーラム（只見町）

題を解決しようという試みです。

昨年も地域経済の活性化を目的として、地元自治体と連携し、金融機関、商工団体、大学、行政機関等に参画していただいて、課題解決に向けた協議を行う地域経済活性化フォーラムを県内2カ所で開催しました。さらには、自治体が地方創生に取り組む上での様々な悩み、質問等に対応する窓口である地方創生コンシェルジュという役割も担っています。

ある首長にこうした取組みを紹介し、何かご要望があれば是非お手伝いさせていただきますよと申し上げたところ、「今どきは財務事務所が営業に回っているのか、時代も変わったな」と変に感心されました。

東日本大震災からの復興は途半ばではありますが、いわゆる復興需要は既にピークアウトし県内経済は正念場を迎えています。財務事務所は、微力ながら、このような取組みを通じて、福島の復興・活性化のために少しでもお役に立ちたいと思っております。



東北財務局キャラクター ザイっち